

報道関係者 各位

2017年9月13日 日本科学未来館

世界科学館サミット2017併催企画 パネル展示「もうえらべない？ 地球 Sold Out ! ～SDGs × 未来逆算思考～」

日本科学未来館(略称: 未来館、館長: 毛利衛)は、2017年11月1日(水)～2018年1月8日(月・祝)の期間、パネル展示「もうえらべない？ 地球 Sold Out ! ～SDGs × 未来逆算思考～」を開催します。

「持続可能な開発目標(SDGs)」(※1)の達成に向けた様々な取り組みが活発化する中、2017年11月に未来館で開催する世界科学館サミット2017(※2)では、SDGsの達成に向け科学館が果たす役割について議論が行われます。また、サミットの開催に先立ち6月には、グローバル・サステナビリティへの市民参加を推進するための科学館行動指針「東京プロトコール」(※3)が世界の科学館代表者たちにより合意されました。

こうした背景を踏まえ、本展示では、広く一般にむけてSDGsに関する情報を発信し理解を促すとともに、持続可能性について来場者が思考しそれぞれがアクションをおこすことで、地球規模の諸課題の解決につなげていくことを目指します。

※1 持続可能な開発目標(SDGs)

2015年9月の国連サミットで採択された「持続可能な開発のための2030アジェンダ」にて記載された2030年までの国際目標

※2 世界科学館サミット2017(SCWS2017)

世界の科学館の代表者をはじめ、教育関係者、政策関係者、企業関係者らが一同に会し、11月15日～17日に日本科学未来館で開催されます。(詳細は次項参照)

※3 東京プロトコール

グローバル・サステナビリティに対する市民参加を推進するため、2017年6月に世界の科学館の代表者たちにより合意されました。(詳細は次項参照)

■開催概要■

イベント名 世界科学館サミット2017併催企画
 パネル展示「もうえらべない？
 地球 Sold Out ! ～SDGs × 未来逆算思考～」

会 期 2017年11月1日(水)～2018年1月8日(月・祝)

休 館 日 毎週火曜日(火曜日が祝日の場合は開館)
 11/15、年末年始(12/28～1/1)

開催時間 10:00～17:00

会 場 日本科学未来館 3階常設展内

入 館 料 大人 620 円、18 歳以下 210 円
 ※6歳以下の未就学児は無料



「未来逆算思考」

■内容■

近い将来、今のような豊かな暮らし方をえらべなくなるとしたら、あなたはどのようにしますか？ 本展示は、SDGsの紹介にはじまり、私たちの消費行動とSDGsとの関係を考えるパネル展示です。また隣接するゲーム形式の体験展示「未来逆算思考」(3階の常設展示)を通して、グローバル・サステナビリティを実現するための科学技術やライフスタイルを考えます。また、会期中には、オリジナルカードゲームを使ったワークショップなども開催する予定です。詳細 <http://www.miraikanjst.go.jp/event/>

一般からのお問い合わせ先	本件に関するお問い合わせ先
日本科学未来館 〒135-0064 東京都江東区青海2-3-6 TEL:03-3570-9151 FAX:03-3570-9150 URL http://www.miraikanjst.go.jp	日本科学未来館 展示企画開発課 広報普及担当 Email: press@miraikanjst.go.jp TEL:03-3570-9192 FAX:03-3570-9150

(※2) 世界科学館サミット2017(SCWS2017)

世界科学館サミットは3年に一度開かれる国際会議で、世界の科学館の代表者をはじめ、教育関係者、政策関係者、企業関係者らが一同に会し、科学技術への市民の関わりについて、また急速に変化する社会のなかで科学館が果たすべき役割について、議論し提言を行っています。

本年開催する世界科学館サミット2017では、「世界をつなぐー持続可能な未来に向かって」をメインテーマとし、地域レベルから地球規模の課題まで幅広くとりあげ、科学館が他の業界組織と連携した新しいモデルへと変革し、持続可能な社会の実現に貢献していくための戦略について多様なセッションで議論します。

開催日程 2017年11月15日(水)～17日(金)

開催場所 日本科学未来館

特設サイト <https://scws2017.org/jp>

(※3) 東京プロトコール「持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け科学館が果たすべき役割」

2017年6月17日、世界科学館サミット2017の開催に先立ち、グローバル・サステナビリティに対する市民参加をさらに推進するため、「東京プロトコール」が世界の科学館の代表者たちにより合意されました。

東京プロトコールは、世界の科学館における今後3年間の行動指針となるもので、SDGsの達成に向けた深い理解と創造性を生み出していくためのプラットフォームとして科学館が活動していくことを宣言しています。11月の世界科学館サミット2017においても、この東京プロトコールを踏まえた具体的な議論が行われる予定です。



ポルトガルでの署名式の様子

詳細 https://scws2017.org/jp/tokyo_protocol/

東京プロトコール 持続可能な開発目標(SDGs)の達成に向け科学館が果たすべき役割 (抜粋)

東京プロトコール賛同者は、2015年に採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」について、

- ・科学・技術・工学・数学(STEM)は、SDGsの課題の解決に不可欠であり、地域や文化を超えて例なく必要とされていることを認識し、
- ・市民による科学技術への参加と行動がSDGs達成のための重要な要素であることを強調し、
- ・地球上のすべての生命体のために、SDGs達成に向けたローカルからグローバルにわたる世界の組織の今日までの貢献や成果を支持し、
- ・SDGsが取り組もうとする課題に対して、世界中のコミュニティのあらゆる個人が行動を起こさなければならないことを考慮し、
- ・今日の世界における、科学、技術、人口、経済のめまぐるしい変化が、SDGsを達成するための協働に対して、課題と新しい好機のいずれをももたらすことも認識し、
- ・世界中の約3000の科学館が年間3億1000万人以上の来館者に影響を与え、市民がともにSDGs達成に取り組む一員となるための意識醸成を促しているということを認識し、
- ・科学館が世の中の変化に敏感かつ迅速に反応し、積極的に行動を起こし、絶えず変化し続ける社会において果たすべき役割のヴィジョンを共有することを自信を持って表明し、その達成に取り組むことを宣言します。

